

## 都市計画マスタープランとは？

土地利用や道路・公園・住宅づくりなど、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことで、都市計画法第18条の2に規定されています。

### 計画改定の背景と目的

広川町では、高度成長と共に進んだ住宅団地や工業団地の整備、広川インターチェンジの開通など、人口増加が進んだ平成11年に、おおむね20年後を見据えた第1期となる「広川町都市計画マ

スタープラン」を策定しました。その後、20年以上が経過し、人口減少や少子高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化など、町をとりまく社会情勢や環境が大きく変化しており、計画を見直すことにしました。

### まちづくりの基本方針と地域別構想

まちづくりの基本方針では、「土地利用」「都市交通」「公園や水辺空間の整備」「災害対策」「都市施設」の5分野について基本方針を定めました。

地域の特性に応じた個性あるまちづくりを進めるため、町内を小学校区の3つの区域に区分した地域別構想を取りまとめています。

「持続可能な地域づくり」を目指して  
未来へつなぐ、みんなが笑顔で暮らすまち

### まちづくりの課題

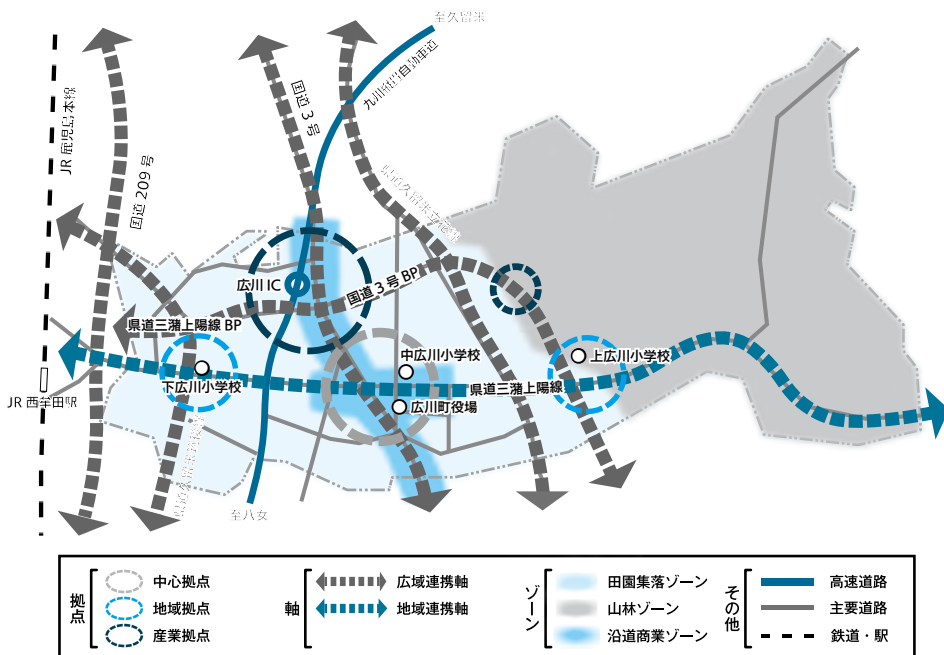
時代の潮流や住民意向調査、中学生ワークショップでの意見などを踏まえ、解決すべき課題を次のとおり整理しました。

- 課題1：人口減少・少子高齢化社会への対応
- 課題2：地域の特色や強みを生かした産業の振興
- 課題3：人の営みと自然が調和した土地利用の実現
- 課題4：暮らしを支える生活基盤施設の整備
- 課題5：風水害や地震などの自然災害への対応

### まちづくりの基本理念と都市の将来像

広川町が目指す都市の将来像は「未来へつなぐ、みんなが笑顔で暮らすまち」とし、実現のために5つの基本理念を設定しました。

- 都市の効率性・持続性の向上
- 豊かな自然環境との調和
- 安全・安心で住みやすい居住環境の形成
- 地域産業の発展をはじめとした都市活力の向上
- 多様な主体の協働によるまちづくりの推進



### 将来都市構造

#### 【拠点の設定】

地域特性に合わせた「地域拠点」と都市機能を集積する「中心拠点」、産業が集積する「産業拠点」の3つの拠点を設定しました。

#### 【軸の設定】

拠点をつなぐ2つの軸（広域連携軸・地域連携軸）を設定しました。

#### 【ゾーンの設定】

土地利用を図る領域で、商業機能を集積させる「沿道商業ゾーン」、農業と住宅が調和した「田園集落ゾーン」、豊かな自然環境を保全する「山林ゾーン」の3つのゾーンを設定しました。

# 7月は「同和問題啓発強調月間」です

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

福岡県では毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、同和問題に対する正しい理解と認識を深め、解決するための啓発を行っています。

## 「ハチドリの一としづく」

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていました  
森の生きものたちは  
われ先にと逃げていきま  
でもクリキンディという名のハチドリだけは  
いったりきたり  
くちばしで水のしづくを一滴ずつ運んでは  
火の上に落としていきます  
動物たちがそれを見て

「そんなことをしていったい何になるんだ」といつて笑います  
クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

出典：「ハチドリの一としづく」いま、私にできること  
監修：辻信一 光文社

## 問題の本質

地球温暖化や戦争、飢餓、貧困など、私たちの生きていく世界は深刻な問題をたくさん抱えています。しかし、それらの問題よりも優先して向き合わなくてはならない、根本的な問題があるのではないのでしょうか。

それは、大きな問題に対して「自分にできることは何もない」とあきらめを感じてしまっていること。この無力感を取り払うことができたとき、自分にもできることがあると一人ひとりが思えたとき、私たちが抱える問題は初めて解決に向けて動き出します。

## 意識が変われば結末も変わる

上記「ハチドリの一としづく」で作者は何を伝えたかったのでしょうか。燃えていたあの森は、その後どうなったのでしょうか。森は燃えてなくなってしまうのでしょうか。それとも……。

環境ジャーナリストの枝廣淳子さんは、この物語の続きをこのように創作しています。

森が燃えているのを見たハチドリは、仲間を増やそうと思いました。

「それぞれが1羽ずつ仲間を増やすように伝えて！」  
2回伝わると4羽が、3回伝わると8羽が、10回伝わると1024羽が、20回伝わると100万羽以上が、そして40回伝わると1兆羽以上のハチドリがやってきて、あっという間に火事を消してしまいましたとさ。

これは枝廣さんの解釈になりますが、一人ひとりが意識を持つことで大きな問題も解決できるようになります。

## 同和問題の解決に向けて

私たち一人ひとりの力は、一匹のハチドリのように、小さな力に過ぎないかもしれませんが。しかし、しっかりと問題に向き合い、できることについて考え、実行に移す。一つひとつの積み重ねが、燃えている森の「火」を消す力になるかもしれません。同和問題の解決についても同じように考えることができると思っています。

# 暮らしの中に息づく、人権を守るための取り組み ～ 子どもたちの進路を保障する「全国高等学校統一用紙」～

公正な使用選考に必要なのは、その人の適正と能力です。



厚生労働省「公正な採用選考をめざして」リーフレットより

## 同和問題啓発強調月間

7月には、福岡県同和問題啓発強調月間です。同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に対して、県をあげて解決に向けて考えていこうという節目の月になります。差別をなくす取り組みは、人権問題を正しく理解することだけにとどまりません。人権を守る取り組みは、暮らしの中に息づいているものもあります。今回はその中から、子どもたちの進路を保障する取り組みである「全国高等学校統一用紙」をご紹介します。

## 「全国高等学校統一用紙」とは?

日本国憲法第22条には「何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する」とあり、自分の考えや信条に従い、自由に進路の選択ができることを保証しています。全国高等学校統一用紙は、この憲法22条が保障する「職業選択の自由」を実現する過程で生まれたものです。1960年代の日本では、多くの会社や事業所が、採用に際して独自の応募用紙を使用していました。項目の中に

は、家族構成や職業だけでなく、家族の状況や資産状況など、個人の資質や能力と関係のないものも数多くありました。結果として特定の人々を排除することにつながり、就職差別事件が多く発生してしまつたのです。

このような問題を解消するために、差別撤廃運動の中から差別的項目を排除した「統一用紙」を作成しようという動きが起ります。この運動が広まつた結果、1973年に「全国高等学校統一用紙」が策定され、1974年に日本工業規格（JIS）の履

歴書も大きく見直されました。子どもたちの就職の機会を奪つてきた就職差別を解消することをめざし、統一応募用紙が制定されました。



令和4年度 広川町人権ポスター 石橋采実さん（小学校4年生）

### 「なるほど人権セミナー」を開催します

- 【第1回】7月4日(火)  
内容：「私にとっての人権部落問題」  
講師：峰 司郎さん（県講師団講師）
- 【第2回】7月14日(金)  
内容：「人権課題を識る」  
講師：古賀 晃さん（久留米市人権啓発センター）
- 【第3回】7月20日(休)  
内容：「人権が尊重される社会の実現をめざして」  
講師：鍋山 公一さん（福岡県人権研究所）

[時間] 19:00～20:30  
[場所] 保健・福祉センター「はなやぎの里」3階多目的ホール  
[対象] どなたでも自由に参加できます。  
[定員] 各60人程度  
※予約不要

生涯学習課人権・同和教育係  
☎ 0943-32-0093